

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA120	科目名	日本語コミュニケーション演習	担当者名	田澤 恒行
授業の概要	日本語の表現能力を高めるために、文章作成の基本を学ぶ。また、名文、詩、短歌、俳句、川柳の鑑賞・創作・評価を通じて、自己表現能力を高める。				
科目の到達目標	正しい日本語表現の基本を習得する。美しい日本語を鑑賞することによって、表現のテクニックを習得する。短詩文藝（短歌、俳句、川柳など）を創作し、相互評価することによって、日本語表現の楽しさを学ぶ。				
DPの観点	②表現力(40) ③ 柔軟性(20) ⑤社会性(20) ⑨主体性(20)				
授業時間外学修 (予習・復習)	授業計画に沿って準備学習・課題作品の創作2時間、資料プリントの復習2時間を行う。				
フィードバックの方法	テーマにしたがって作品を創作し、相互評価を行う。（創作、評価のフィードバック）				
単位認定の要件	・授業中の学習意欲 ・創作、評価活動				
評価の方法・割合 (%)	・授業内活動50% ・創作作品50%				
履修上の注意事項	・日常的に文藝作品に親しむこと				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1	4/8		日本語表現について(講座のねらい)	②、③、⑤、⑨	講義、意見発表
2	4/15		正しい日本語表現	②、③、⑤、⑨	講義、意見発表
3	4/22		ビジネス文書・報告文書・コラムの表現	②、③、⑤、⑨	講義、意見発表
4	5/13		文章作成(スピーチ原稿を作成する)	②、③、⑤、⑨	文章作成
5	5/20		スピーチ演習	②、③、⑤、⑨	スピーチ(発表)
6	5/27		日本語のリズム 短詩文藝(短歌・俳句・川柳)の歴史	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
7	6/3		短詩文藝に学ぶ① 詩	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
8	6/10		短詩文藝に学ぶ② 短歌	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
9	6/17		短詩文藝に学ぶ③ 短歌・合評吟	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
10	6/24		短詩文藝に学ぶ④ 俳諧・俳句	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
11	7/1		短詩文藝に学ぶ⑤ 俳句・合評吟	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
12	7/8		短詩文藝に学ぶ⑥ 川柳	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
13	7/15		短詩文藝に学ぶ⑦ 川柳・書写	②、③、⑤、⑨	講義、創作、意見発表
14	7/22		川柳演習(模擬句会/実作)	②、③、⑤、⑨	創作、意見発表
15	7/29		日本語表現について(まとめ)	②、③、⑤、⑨	講義、意見発表
期末試験					

使用テキスト	資料プリントを配付
参考文献 参考URL	
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--